



CBI 学会 会長退任の挨拶

慶応義塾大学

片倉 晋一

2022 年 3 月末をもって CBI 学会学会長を退任するにあたり、ご挨拶させていただきます。

2017 年 4 月に会長を拝命し、5 年間、会長として CBI 学会の活動に関わってまいりました。この 5 年間で世の中は大きく変わりました。特にコロナウィルスの感染拡大は様々なところに多大な影響を与えてきました。日本のみならず全世界が一丸となって感染症に対する研究を加速させ新たな技術を生み出すと同時に、研究自体のやり方にも変革をもたらしています。このような激動の世の中において、CBI 学会は、ケモインフォマティクスとバイオインフォマティクスの融合のもと、in silico 創薬を基軸として世の中で日々生まれる研究や技術を取り入れながら、新たな研究の流れを作り出すことに注力してまいりました。

これまで沢山のアカデミアならびに企業の研究者の方からご支持いただきました CBI 学会の活動ですが、最近、幾つかのあらたな試みを開始しております。既成の枠にとらわれず、ふと思いついたアイデアをもとに同じように興味をもつ研究者があつまり、自由に研究を組み立てていく、そんなことを可能とする学会の場でありつづけたいと思います。そのためには CBI 学会はどうあるべきか、なにをすべきか、常にといつづけ、新しいことにチャレンジすることで CBI 学会は更に魅力的な学会となり、皆様のご支援と、期待に応えることができるものと考えております。

2022 年 4 月から相良新会長のもと、新生 CBI 学会がスタートいたします。相良会長の強力なリーダーシップと斬新なアイデアが CBI 学会を次なるステップに導いてくれるものと確信しております。

これまで皆様には大変お世話になりました。この場をおかりして、厚く御礼申し上げます。今後も CBI 学会を何卒よろしくご願ひ申し上げます。

令和 4 年 3 月吉日

